



高齢者

三大学交流会

教育長 津野庄一郎

18日の午後、心配された雨もあがり三大学の学生150名余りが、荒川地区公民館多目的ホールに集いました。三大学と

は、神林地区かみはやし大学（佐藤勝浄^{じょう} 学長）、荒川地区高坪大学（遠山栄子^{たかつぼ} 学長）と関川村やまゆり大学（津野庄一郎学長）のことで、昔から岩船郡の南部郷として人的な交流が盛んな地域です。



「交流芸能発表」での関川村やまゆり大学の演目は「マツケンサンバ」（寸劇あり）。会場は拍手と笑いに包まれ、大いに盛り上がりました。当課担当に聞くと、上関集落の皆さんが快く出演を引き受けてくれたとのこと。ありがとうございました。

発表会に先立ち、「記念公演」として、武藤千明さん（長岡市在住）のフルート演奏がありました。なんでも6年前に関川村でも演奏したとか。クラシックから日本や世界の名曲、さらには映画音楽まで、フルートの奏でる柔らかい音色^{ねいろ}と見事な演奏に、心が洗われる思いでした。

遠山学長は開会の挨拶で、「ぼっちのアリは死ぬ」（古藤日子^{ことうあきこ}著：ちくま新書）の本から、隣近所の人とおしゃべりすること、大勢の人と顔を合わせて元気になることの大切さを教えられたように思うと話されました。アリは集団で生活する社会的な動物であり、人間も同じ。孤独のままでは生きながらえません。いくつになっても学び、笑い、人とかかわり、支え合って元気に過ごせたら、どんなに幸せなことでしょう。

主催された荒川地区の皆さんに感謝し、来年の神林地区での再会を楽しみにしたいと思います。

<【写真】上：マツケンサンバを踊るやまゆり大学の学生 下：武藤千明さんのフルート演奏>